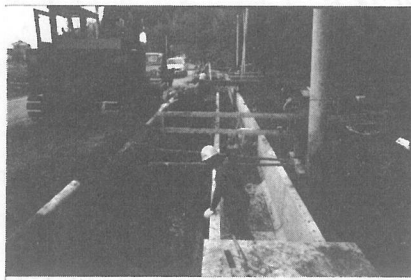


心に道路側溝を順次整備しているが、下水道については、騒特定基本方針に基づく整備計画の中に組み入れ、生活雑排水の処理にあたりたい。当面は、栗山モデル地区に設置した簡易浄化槽の問題点を解決したうえで、町全域に普及を図る方針である。



着々と整備される道路側溝

(宅地造成と環境汚染)

問 ミニ開発の進行が環境汚染をひき起こしている現状から、宅地開発条例を制定する必要があると思うがどうか。

答 千㎡以上の宅地開発は県条例で規制しているが、それ以下のものについては今後町独自で指導要綱などを作成し、優良な宅地造成を指導していく。

農業問題

(冷害対策)

問 三年連続して冷害に見舞

われ、早稲品種は去年以上の減収となって農家は苦慮している。町の冷害対策を伺いたい。

答 普及所・農協などを通じた適切な栽培指導・融資金の利子補給及び共済金・転作奨励金の早期支払いなど、きめ細かな対策をより一層推進していく。

(休耕・青刈り問題)

問 本年度の休耕達成率及び青刈り面積は。また、青刈り確認作業の早期実施はできないか。

答 達成率は八月二十六日現在一四・六％と予想以上であった。青刈り面積は約一八haである。青刈り確認は、国の指導に基づき適正に行わねばならないので、これ以上の早期実施は不可能である。

(地力増強対策)

問 近年農地の地力が低下し、作物に影響が出始めているが、もみ殻を利用し、地力増強を図ってはどうか。

答 もみ殻の利用については、事業主体・経済性・管理方法など、検討課題が多い。町ではむしろ、稲わらの利用に力を入れているところだが、この問題はしばらく研究させて欲しい。

航空機騒音・災害対策

(騒音対策交付金)

問 B滑走路完成後は、騒音がより激しくなることが予測される。騒音対策交付金の今後の見通しについて伺いたい。

答 公団からの騒音対策交付金は、成田空港が存続する限り支払われる。B滑走路が完成すれば、現在よりも増額になると予想される。

(騒音測定)

問 地区住民のモニター制度を採用して騒音測定を行ってはどうか。

答 業者委託に比べて費用が安いなどの点から、現在は各課の職員の応援を願ひ実施している。モニター方式は特殊な機器の操作等から問題も多い。理想は自動測定器の導入だが、モニター方式とも併せ検討したい。

(災害発生時の対応)

問 航空機による災害発生時における対応策は。

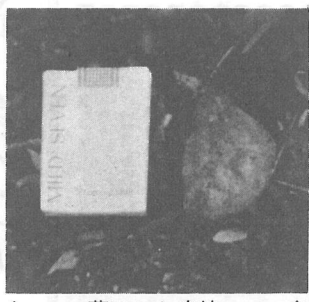
答 大災害が発生した場合は、防災計画に準拠して事故対策本部を設置し、消防署・消防団・町職員連携のもとに消火・救急活動にあたる。また、相互応援協定に基づき、周辺消防本部から速やかに応援出動が可能である。

(落下物被害対策)

問 落下物被害の救済対策について、先頃創設された被害補

償制度に加えて、公団対市町村という約款の締結はできないか。

答 公団は、責任の範囲は空港内という見解だが、補償制度の事務窓口になっていることもあり、責任体制は十分にある。騒音対策部会などを通じて検討したい。



落下した氷塊

(空港デメリットの解消)

問 空港裏側のデメリットを解消する手段についての町の方針は。

答 長い目で空港をとらえていくが、当面は騒音対策交付金の増額により、デメリットを埋めていくという考えである。

(見舞金制度)

問 成田市が落下物事故に対する見舞金制度を作ったが、これに対する町長の考え方を伺いたい。

答 趣旨はわかるが、加害者が起こした事故に対して、税金の中から見舞金を支出するのはどうかという反論もある。騒音対策部会などで十分検討したい。

町と議会の動き

9月

町長

- 1日 防災訓練
- 2日 山武水道議会 東金市
- 3日 行政懇談会(栗山地区)
- 5日 県土木部長懇談会 千葉市
- 5日 県庁陳情(集会所建設について)
- 6日 農協大総支所倉庫竣工式
- 8日 総務・産業建設・民生文教常任委員協議会
- 10日 栗山南部二集会所起工式
- 12日 定例町議会(第一日)
- 13日 長寿者訪問
- 14日 (敬老記念品贈呈)
- 16日 定例町議会(第二日)
- 17日 農業委員会
- 19日 騒音対策委員会地区部会
- 22日 蓮沼村慰霊祭 蓮沼村
- 24日 知事町村議長交歓会 千葉市
- 28日 山武郡市土地改良協会役員会 東金市

議会

- 1日 防災訓練
- 1日 議会運営委員会
- 2日 山武水道議会 東金市